



特集

いざという時の備え、

- 地震と津波から

家族で防災会議をしてみよう

災害が起こった時、「どのように行動したらよいか」「どのように備えておくべきか」など、家族で防災会議を開き、災害が起こった時の対応方法話し合っておくと安心です。

職員の家族が防災会議をしてみました



子：地震が起こったらどうすればいいの？

父：まずは自分の安全を確認してね。

地震が起きたら、机の下に隠れてね。危険だから慌てて外に飛び出しちゃだめだよ。

母：外にいたら頭を守って建物から離れ、公園とか安全な場所に避難してね。

倒れてくる可能性があるから、ブロック塀や自販機には近づかないでね。

子：うちの家は海に近いよね。もし津波警報が出たら、どこに行けばいいの？

父：ハザードマップで避難場所を確認しよう。家から近くて津波が来ない避難場所はここだね。

道順も一緒に確認しよう。この道から避難するのはどう？

母：その道は道幅がせまくて周りに大きい建物も多くて危険だから、こっちの大通りから避難した方がいいと思う。

父：確かに。じゃあ、この道順で徒歩で避難しよう。もし、家族とはぐれてしまったら、〇〇避難所で集合しよう。

★半田市の避難所一覧は右のQRコードから確認できます。どのように避難するか、避難経路も一緒に確認して、危険な箇所はできるかぎり避けて避難するようにしましょう。



▲半田市の避難所一覧

子：学校にいる時は、どうすればいいの？

母：先生の指示に従ってね。お母さんが迎えに行くから。

子：スマホが繋がらなくなったら、お母さんたちとどうやって連絡をとるの？

父：災害用伝言ダイヤル(171)とか災害用伝言版(web171)で連絡し合おう。

★災害用伝言ダイヤルおよび災害用伝言版の使い方は右のQRコードからチェック!

下記日時などに体験利用することができます。災害発生に備えて、利用方法を事前に確認しておきましょう。

〈体験利用できる日〉 ※詳しくは右のQRコードからご覧ください。

◇防災週間(8月30日9時～9月5日17時)

◇毎月1日、15日 0時～24時



▲災害用伝言ダイヤル・伝言版の使い方



▲体験利用について

「もしも今、大地震が起きたら…」家族と1週間過ごせるだけの備蓄はありますか？

市では大規模災害に備え、食料やトイレ等の資機材を備蓄していますが、数には限りがあるため、自分と家族が必要とする分は、日頃から備蓄しておきましょう。

災害時に自宅が無事だという方には、在宅避難を推奨しています。災害に備え、自宅での備蓄や安全対策を強化することは、いざという時に家族の安心と安全を守る大きな力となります。まだ備えが十分でない方は、これを機にぜひ見直してみてください。

また、災害時には避難行動の呼びかけや避難所での生活において、地域の方との助け合いが一層重要になります。日頃から地域の方と交流を深めて、いざという時に協力し合える関係を築いておくことが大切です。詳細は次のページで特集していますので、ぜひご覧ください。



防災安全課 担当者